

資料 3

社会教育委員として取り組む調査研究について

令和元年度より、引きこもりの問題について、「ひきこもりとなり、社会参加ができなくなる前の段階で、社会教育委員としてかかわれること」を、調査研究し、ご活動いただいた。

令和3年4月に、これまでの調査研究のまとめとして社会教育委員新聞「つながろう社会と」を発行。

令和3年に開催された社会教育委員会議では、令和4年度の活動として方向性を見出していただいた。

- (1) 当事者のプライバシーに配慮しつつ、当事者が満足できる支援とはなにか。
- (2) 相相談窓口や行政への相談はなかなか行きづらい。当事者と窓口をつなぐ人を紹介したい。
- (3) 引きこもりとなる前のきっかけとはどんなものか。

【メモ】